

一人ひとりが大切にされる教育を！

なくそう長時間労働！ふやそうせんせい！！

毎日新聞は、公立の小学校教員採用試験の倍率の低下をとりあげ、その理由として「学校現場が『ブラック』だと知られてきた影響ではないか」と指摘する学者がいること、同時に文科省の16年度調査では、「小学校教員の3割が過労死ラインに達している」ことを報じています。(5月10日)

教職員の長時間労働の解消は、いよいよ待ったなしの状況です。にもかかわらず、文科省・中教審は教職員定数の改善には一切触れず、「1年単位の变形労働時間制」の導入でごまかそうとしています。

全教は、文科省の概算要求期であるこの時期に「えがお署名(教職員の定数増を求める署名)」にとりくみますが、今年はさらに多くの人にこの問題を考えてもらおうと、「せんせい ふやそうキャンペーン」を立ち上げました。是非、ネット署名(change.org)に署名(「賛同」)していただき、フェイスブックやツイッターなどでのシェアやメール送信などで、教職員定数増の声を大きく広げていきましょう。



「せんせいってね、大変なんだよ。毎日、けんかをする子や泣く子の話を聞いたりしているんだから。それなのにぼくが相談したら、せんせいは病気になっちゃうよ」。ある不登校の子のつぶやきです。

教師の長時間過密労働は社会的な問題となり、子どもたちが先生に遠慮しなければならないほど、学校は深刻な状況になっています。

子どもにも教職員にももっとゆとりが必要です。「そうか。」「わかった。」「できた。」私たちの願いはこんな声が子どもから聞こえてくることです。そのためにも、「せんせいをふやすこと」

が大切です。ネット署名の要求項目は2つです。

1. 教職員を大幅に増やしてください

教職員のゆとりと健康あってこそその子どもの成長・発達です。教職員が所定の勤務時間の中で、子ども達一人ひとりにしっかりとよりそい、教育本来の仕事ができるようにしてください。

2. 「1年単位の变形労働時間制」の導入はやめてください

柴山文科大臣は「变形労働時間制の導入で、教師の業務や勤務が縮減するわけではない」と述べています。それどころか、勤務時間の延長によって、1日8時間労働の原則が崩され、長時間労働はいっそう助長されてしまいます。

是非、ネット署名にご協力ください。ネット署名は右のQRコードを読み取っていただくか「せんせいふやそう」で検索していただくかで、署名の画面につながります。「ネット署名はどうも…」と言う方は、お配りしているチラシの裏面が、個人署名になっております。是非声をお寄せください。

★ せんせい ふやそうキャンペーン

スマホのバーコードリーダーをかざすと署名の画面につながります。

ネット署名に
change.org
ご賛同を!

せんせい ふやそう 検索